

デバイスWebAPIを用いた各種 ソリューション適用事例の紹介

株式会社NTTドコモ
サービスイノベーション部
吉川 貴



Device WebAPI
Consortium

- 様々なIoTデバイスの接続を容易にするIF技術であるデバイスWebAPIを使った各種ソリューションが展開されており、事例紹介させていただきます。
 - 未病改善サポートシステム
 - IHIアラウンドシアター東京 字幕サービス
 - CeBIT 2017 オープニング「Japan Show Act」

未病改善サポートシステム

- 神奈川県、SOMPOケアネクスト、NTTドコモでの実証実験
- 介護付有料老人ホームである「SOMPOケア ラヴィーレ葉山」において入居者の健康状態を可視化する実証実験を実施。
 - 1/16(月)～3/17(金) 9週間
 - 3週間を1タームとして、可視化した帳票を入居者、およびスタッフにフィードバック
- 介護スタッフ業務支援効果、入居者の健康意識向上効果を評価
 - 血圧/体重/睡眠の可視化は有意義
 - 入居者の半数弱に意識/活動内容変化が認められた
 - 機器利用に大きな負担/困難はなし
 - 特に睡眠計の活用は、ケア内容の変化、入居者の健康改善可能性が示唆された



IHIアラウンドシアター東京 字幕サービス



報道関係者各位 プレスリリース

2017年3月29日

株式会社TBSテレビ

- TBS社との協業により、デバイスWebAPIの活用による、スマートグラスでの劇場向け新体感サービスの共同実証プログラムを開始
- 「IHIステージアラウンド東京」にて、演劇観覧の多言語字幕システムを3/30～提供。

新劇場「IHIステージアラウンド東京」にて

NTTドコモと多言語字幕対応、およびマルチコンテンツ提供を開始

株式会社TBSテレビ(所在:東京都港区赤坂5丁目3番6号、代表取締役社長:武田信二、以下TBSテレビ)は、株式会社NTTドコモと協力※1して、TBSらが主催する新劇場・IHIステージアラウンド東京(豊洲)にて、NTTドコモのデバイスコネクトWebAPI技術※2を応用した演劇観覧の多言語字幕対応、AR・VR等を用いたマルチコンテンツの提供などを順次実施致します。

多言語字幕の導入は、劇場のこけら落とし公演でもある ONWARD presents 劇団☆新感線『観劇城の七人』Season 花 Produced by TBS(3月30日～)から開始。

多言語字幕などのコンテンツは、エプソン販売株式会社のスマートグラス MOVERIO『BT-300』(モベリオ)の使用を予定しており、今後はタブレット端末など、対応端末機種を増やすことも検討中です。

※MOVERIO『BT-300』(モベリオ)

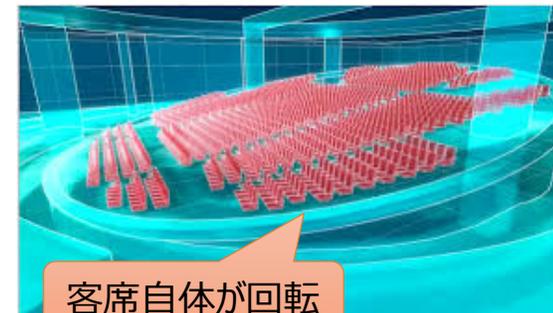


※ウェアラブル端末装着時

※1 本取組において、NTTドコモは「イノベーションパートナー」として協力致します。

※2 デバイスコネクト WebAPIとは、デバイスをコントロールするための、OMA(Open Mobile Alliance)の規格に基づいたAPIです。

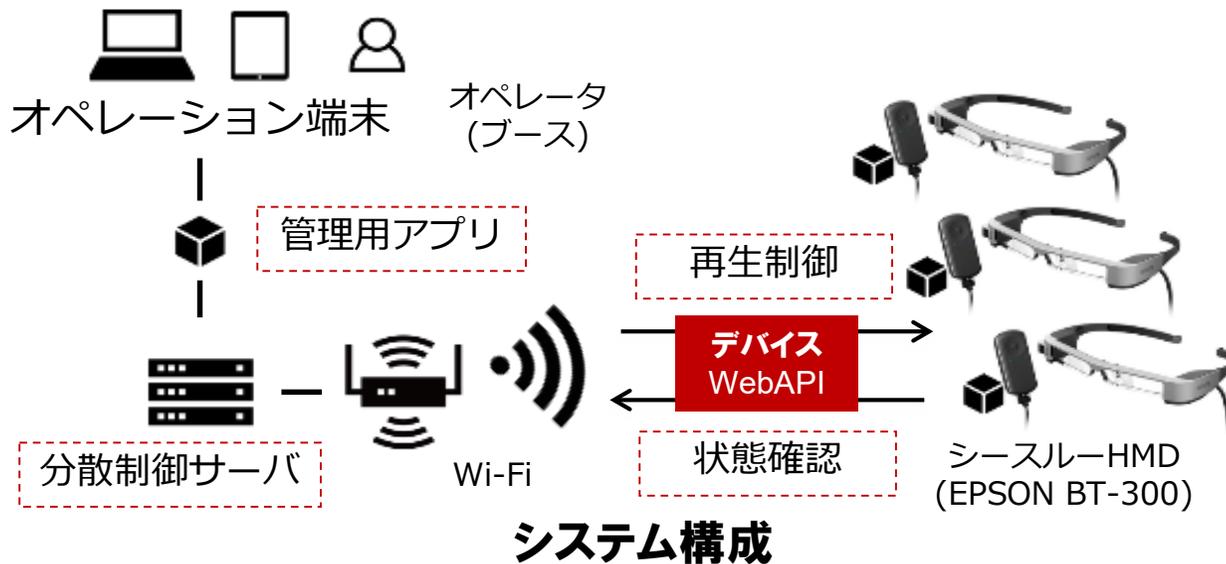
シースルー型HMDで
字幕を重畳表示



客席自体が回転

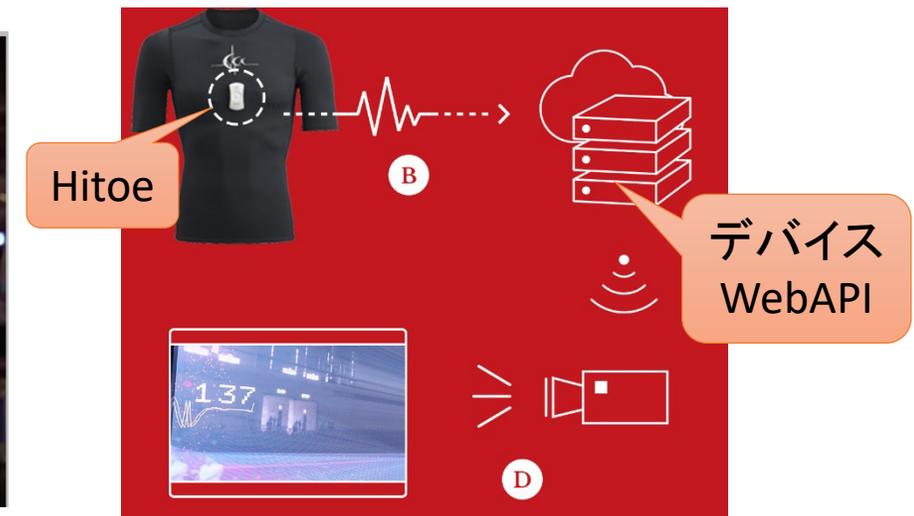


(ユーザ観劇イメージ)



CeBIT 2017 オープニング「Japan Show Act」

- 3/20～24にドイツ・ハノーバーで開催されたCeBITのオープニングアクトにて、デバイスWebAPI+Hitoeトランスミッター01が利用されました
- 演者に装着したhitoeを介して心拍データを取得し、可視化
- 生体データを活用するソリューションを短期間で開発



ご清聴ありがとうございました